

第227回研究科委員会・第333回教員会議 議事要録

日時：令和4年2月9日（水） 13：30～15：40

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

研究科委員会

[ 審議事項 ]

1. 教務委員会

(1) 共生システム理工学研究科規程等の一部改正について

資料1に基づき、以下の改正部分（赤字）が説明された。

1) 再生エネルギー講座の廃止等に伴う科目名の変更

2) 履修基準に最終試験に合格することを明示

3) 秋季入学者に関する記述の追加

審議の後、承認された。

(2) 令和4年度非常勤講師計画について

資料2に基づき、令和4年度非常勤講師計画の申請状況について説明され、承認された。

(3) 令和4年度9月修了博士論文最終試験日程について

資料3に基づき説明され、承認された。

共生システム理工学専攻会議

[ 報告事項 ]

1. 教務委員会

(1) 学生の退学について

回収資料に基づき、博士前期課程1名の1月31日付での退学が報告された。

教員会議

[ 審議事項 ]

1. 学類長

(1) 人事委員の選出について（選挙）

人事委員の選出についての説明の後、投票を実施した。

投票の結果、得票順に教授2名（18票）、教授1名（10票）の3名が選出された。

(2) 教員の昇任について

1) 教員資格調査委員会の調査報告について（回収資料）

講師の准教授昇任について、回収資料に基づき、資格調査委員長より資格調査委員会の審査経緯と審査結果が報告され了承された。

2) 昇任候補者の決定について（投票）

1)の結果を受けて、無記名での投票が行われた。投票総数42票、昇任賛成42票、反対0票、白票0票で、投票数の2/3の賛成を得たため、講師の准教授昇任が承認された。学類長より学長に結果を報告する。

(3) 特任教員Aの任用について

資料7に基づき、今年度で定年退職となる教授2名を、来年度特任教員A（特任教授）として任用することが提案され、承認された。

(4) 特任教員の任用について

回収資料に基づき、特任助教1名の任用（継続）が提案され、承認された。

(5) 研究員（プロジェクト）の任用について

回収資料に基づき、研究員（プロジェクト）1名の任用（継続）が提案され、承認された。

(6) 客員教員の任用について

回収資料に基づき、客員教授9名（7名継続、2名新規）と、客員准教授4名（3名継続、1名新規）の任用について、人事委員会で申請書類について内容を確認したとの説明とともに提案され、承認された。

(7) 客員研究員の任用について

回収資料に基づき、客員研究員17名の任用（継続）が提案され、承認された。

2. 教務委員会

(1) 令和3年度非常勤講師計画について

資料4に基づき、取り下げ（No.12、No.13、No.15、No.22、No.32）や変更（No.26）の説明・提案があり、承認された。

[ 報告事項 ]

1. 教務委員会

(1) 第59回全学教務協議会について

(報告事項)

・スタートアップセミナー及び問題探究セミナーの成績評価について

資料5に基づき、スタートアップセミナーの学類ごとの成績分布が示され、特にS評価の割合にばらつきが多い問題提起がされた。また、理工学類では原則S評価を行わないことや、問題探究セミナーではS評価は優秀レポートに該当する場合であることなどが確認された。

2. 入学試験委員会

(1) 令和4年度一般選抜志願状況について（資料なし）

一般選抜前期日程の志願者数や志願倍率、各教科別の志願者数などが報告された。

3. 男女共同参画推進専門委員会

(1) 令和4年度前期研究支援員配置希望者の募集について

資料6に基づき、研究支援員配置希望者の募集がアナウンスされた。

4. 学生生活委員会

(1) 2022年度グループアドバイザーについて（資料なし）

2022年度グループアドバイザーを以下の教員にお願いする、との報告があった。

数理・情報科学コースの准教授、物理・システム工学コースの准教授、数理・情報科学の教授、物質科学コースの教授、物質科学コースの准教授、生物環境コースの教授、社会計画コースの教授、心理・生理コースの准教授

5. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金2件が報告された。

[ その他 ]

1. その他

教育研究評議会

第375回（2月8日開催）報告

【審議事項】

(1) 令和3年度大学機関別認証評価結果（案）及び意見申立てについて【資料7】

資料7に基づき、大学改革支援・学位授与機構より、1月31日付けで通知された令和3年度実施大学機関別認証評価結果（案）の概要及び本学としての対応について報告があった。

(2) ICLプロジェクトにおける単位互換に関する協定締結について（戻り報告）【資料8】

第373回教育研究評議会（12月22日開催）において提案され、各学類教員会議等に意見聴取していた結果について、どの学類からも特段の意見はなかったとの報告があった。

(3) 大学院の改革について【資料9】

第374回教育研究評議会（1月11日開催）以降に実施した文部科学省への事務相談に係る概要について報告があった。また、食農科学研究科の進捗状況について報告があった。

また、第374回教育研究評議会において提案し、各学類教員会議等に意見聴取していた「教育プログラム」及び「入学定員の見直し」について、意見聴取結果の報告及び回答があった。「教育プログラム」については、食農科学研究科から、履修パターンのうち専門性重視型のみを導入し、学際性重視型については、修士課程完成年度の翌年度から導入することとしたいとの提案があった。

理工学研究科に関しては、文部科学省側から設置審査は必要ないとの回答があった。一方定員については、理工系人材育成の観点から再度検討することとなった、との説明があった。

#### 【報告事項】

- (1) 福島大学キャリアセンター設置に向けての検討について(最終報告)【資料1】  
資料1に基づき、福島大学キャリアセンター設置に向けての検討について最終報告があった。  
また、今後各学類に以下の依頼があることが説明された。  
中堅クラスの卒業生の推薦(10名程度)  
福大生を採用したい企業や自治体等の情報提供  
進路先開拓でのキャリアセンターとの連携
- (2) 令和4年度福島大学「foRプロジェクト」の公募について【資料2】  
資料2に基づき、令和4年度福島大学「foR-A プロジェクト」の内容及び募集について報告があった。本プロジェクトの支援経費は学長裁量経費であるとされているが、次年度予算はまだ決定していないこと、また、大学が行うクラウドファンディングにより獲得した資金を利用するなど、財政面での負担を減らす方策についても検討いただきたいとの説明があった。
- (3) 国立大学法人福島大学と小野町との包括連携協定の締結について【資料3】  
資料3に基づき、第583回役員会(1月4日開催)で審議・承認された本学と小野町との包括連携協定の締結について報告があった。
- (4) 令和4年度予算(案)の伝達等について【資料5】  
資料5に基づき、本学の令和4年度運営費交付金予定額のうち、未伝達であった事項について、1月18日及び1月21日付けで伝達があったことから、改めて全体の状況について報告があった。引き続き、「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の集計方法、算定方法及び本学の評価結果の概要について報告があった。
- (6) 令和3年度教職大学院認証評価結果(案)について【資料6】  
資料6に基づき、教員養成評価機構より、1月24日付けで令和3年度教職大学院認証評価結果案を受領したことについて報告があり、その概要及び今後のスケジュールについて説明があった。

#### 運営会議

第170回(1月25日開催)報告

- (1) 令和2年度会計検査院の決算検査報告説明会について【資料1】  
令和3年12月末に開講された会計検査院の決算検査報告説明会(eラーニング方式)における、令和2年度決算検査報告の概要及び検査報告事例の個別説明について報告があった。
- (2) 第4期中期目標期間に向けた事務組織改編に関する検討結果について【資料2】  
第3期中期計画【5400】(客観的データの収集と分析に基づく意思決定のためのIR室の設置や、地元のニーズを踏まえた農学系人材養成組織の創設等の教育研究組織の改革に即応する柔軟な事務部門の資源の配分を行う。)を実施するため、食農学類設置をはじめとする教育研究組織の改革に対応すべく、既存の事務組織を見直しながら、組織改編及び人員配置を行ってきた取り組みや今後の検討課題について報告があった。
- (3) 福島大学キャリアセンター設置に向けての検討について(最終報告)【資料3】  
第375回教育研究評議会【報告事項】(1)
- (4) 令和5年度の地方国立大学の定員増への対応について【資料4】

資料4に基づき、定員を増やすことによる運営費の増加も懸念されるが、人文社会科学系であれば、比較的財政上の負担も少ないことから検討していきたい、との報告があった。

(5) 福島大学教員人事計画に関する申合せの改正について【資料5】

資料5に基づき、新たな教員人事・人件費管理の方法を決定するまでの間、これまでの「申合せ」を一部改正して、当面の人事に対応することとしたい、との説明があった。

(6) 大学院の改革について【資料6】

第375回教育研究評議会【審議事項】(3)

(7) その他

電気・ガス・水道使用量について(12月分)【資料7】

使用量の報告があり、電力に関しては、2000kWを超えると直接送電線から引き込む工事が必要となり、数億円規模の増加になってしまうので、引き続き節電に協力いただきたい、とのアナウンスがあった。

第171回(2月1日開催)報告

(1) 大学院の改革について【資料1】

第375回教育研究評議会【審議事項】(3)